

平成19年度に実施された事業の結果報告及び今後の方向性(概要)

※本ページは各事務事業の概要紹介と19年度の報告を目的としています。評価の詳細については次ページをご覧ください。

事業名	市民活動支援補助事業	所管	教育委員会教育総務部 社会教育課
			TEL 2998-9242

事業の目的 (何の為に 行うか)	教育委員会が支援する所沢市文化祭等の市民文化事業に対し、「ミュージズ」の利用料の一部を補助し、「ミュージズ」を利用した市民の芸術・文化活動の活性化を促す。
------------------------	---

対象 (誰を、何を 対象としてい るか)	市民	対象とした数	339,058	人
		実際に 利用した数	27,900	人

活動の内容	(何を したか)	①「市民により組織され文化事業を実施する実行委員会」または団体等が主催し、参加及び鑑賞の機会が広く市民に開かれるなど公共性が高く、教育委員会が支援している、市民の文化振興に寄与する事業が対象であり、事前の十分な相談・打ち合わせの上、申請を受ける。 ②今までの実績や事業の内容に応じて、「ミュージズ」の施設利用料及び付属設備利用料、施設の技術者等の経費の一部または全額を交付する。							
活動実績	項目名	補助事業(催し物)数	20	項目名	単位	事業	単位	項目名	単位

経費 (どれだけか かったか)	当初予算額(千円)	決算額(千円)	事業費合計(千円) ※人件費・公債費を含む	市民一人当たり単価(円)
	4,500	4,500	6,285	18.5

成果 (結果として どうなった か)	成果指標名	説明 (計算方法等)	目標値	実績	達成率
	事業参加者数+観客入場者数	出演者数+出品者数+観客入場者数	30000 単位 人	27900 単位 人	93.0 単位 %

今後の 方向性 (所管の意 見)	総合 評価	* 事業の継続 ⇒ 拡充 縮小 統合 * 改善・効率化 改善余地なし その他 []							
		終了 ⇒ 事業完了 終了 休止							
	予算	* 現状どおり 増額 減額 終了							

今後の 方向性 (二次評価の 意見)	二次評価実施の有無 有り⇒下記評価へ * 無し⇒終了								
	総合 評価	拡充 縮小 統合 改善・効率化 改善余地なし その他 [] 終了							
	予算	現状どおり 増額 減額 終了							

平成 20 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名		担当部課	部課コード	120300	画	2998-9242
事業コード	市民活動支援補助事業	教育委員会	教育総務部	社会教育課		
120327		グループ	文化振興担当			
開始年度 平成 5 年度 → 終了年度 平成 年度						

②事業の概要	事業の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 法定受託+附加		根拠法令					
	分野別計画・指針	所沢市生涯学習推進計画		文化芸術振興基本法・社会教育法					
	関連・類似事業	文化団体援助事業							
	総合計画の体系	政策	第4章 いきいきと学び文化をはぐくむまち	人・施策	5節 市民文化	中柱	2 芸術・文化活動の振興・発信	小柱	(2) 芸術・文化活動の奨励・支援
		H19市民意識調査における施策の順位...43施策中 33 位		実施計画における位置づけ... H19 ○ H20 ○					
	行政改革大綱における行動計画への位置づけ								
	コード	3261	事務事業見直しの推進	コード					
	事業開始の背景	平成5年の所沢市民文化センター「ミュージズ」の開設にもない、教育委員会が支援している事業で「ミュージズ」を利用する場合の負担軽減とミュージズの利用促進を図り、文化振興を目的に、利用料補助金を該当事業の主催団体に交付することになった。							

③事業の内容	目的(何のために行うか、具体的に) 教育委員会が支援する所沢市文化祭等の市民文化事業に対し、「ミュージズ」の利用料の一部を補助し、「ミュージズ」を利用した市民の芸術・文化活動の活性化を促す。				
	対象(誰を、何を対象としているのか)		利用数の考え方		
	市民		事業参加者数(出演者数・出品者数)及び観客入場者数		
	対象数	単位	平成 18 年度	337,883	人
			平成 19 年度	339,058	人
	事業の具体的な内容及び実施方法				
	①「市民により組織され文化事業を実施する実行委員会」または団体等が主催し、参加及び鑑賞の機会が広く市民に開かれるなど公共性が高く、教育委員会が支援している、市民の文化振興に寄与する事業が対象であり、事前の十分な相談・打ち合わせの上、申請を受ける。 ②今までの実績や事業の内容に応じて、「ミュージズ」の施設利用料及び付属設備利用料、施設の技術者等の経費の一部または全額を交付する。				

④前年評価と改善点	平成19年度事務事業評価結果(平成20年度の方向性)		≪ 最終評価 <input type="checkbox"/> 一次評価 <input checked="" type="checkbox"/> 二次評価 ≫		
	総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [])			
		<input type="checkbox"/> 終了 ⇒ (<input type="checkbox"/> 事業完了 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 休止)			
	予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了			
	平成19年度中に改善した点				
	補助金予算額を減額した。これにもない各事業への交付額を見直し、各団体の主体性を尊重しつつ自助努力を促進した。				

⑤経費	《会計種別》	一般会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)	
	当初予算		4,600	4,500	4,500	
	決算(見込み含む)		4,600	4,500		
	(嘱託職員) (臨時職員)	(人) (人) (人) (人)				
	正規職員人件費		0.16 人	1,472	0.19 人	1,785
	公債費					
	事業費合計		6,072	6,285		
	財源内訳	一般財源	6,072	6,285	4,500	
		国・県支出金				
		受益者負担金				
	市債					
	その他					
	市民一人当たり(単位:円)		18.0	18.5		
	利用数一単位あたり(単位:円)		218.4	225.3		

⑥指標	項目名	補助事業(催し物)数	計算方法	ミュージズを利用した事業(催し物)で補助を行なった件数	単位	事業	H 18	20	H 19	20	H20見込み	将来目標
	活動実績											
	成果分析	事業参加者数+観客入場者数	出演者数+出品者数+観客入場者数		人		目標値	30000	30000			
							実績	27800	27900	実績値の拡大を図る1 実績値の縮小を図る2		
					%	達成率	92.7	93.0				

⑦一次評価	評価項目	現状評価	事業の対象を見直す必要性	評価項目	現状評価	見直しの必要性
	対象設定	<input type="checkbox"/> 対象を絞る <input type="checkbox"/> 対象を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの必要なし		実施主体	実行委員会・団体	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
	他事業との整理・統合	<input type="checkbox"/> 統合する <input type="checkbox"/> 連携する <input type="checkbox"/> 類似事業がない <input checked="" type="checkbox"/> 統合等必要なし		受益と負担の関係	受益者負担の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
	明らかとなった課題	受益者負担について今年度も見直しをすすめる。補助金予算額を減額したことにもない各事業への交付額を見直し、各団体の主体性を尊重しつつ自助努力を促進する。				
	今期目標項目(何を)	事業参加者数+観客入場者数	増やす	達成水準(どこまで)		時期(いつまで)
平成21年度における事業の方向性	平成21年度における事業の方向性					
総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 []) <input type="checkbox"/> 終了 ⇒ (<input type="checkbox"/> 事業完了 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 休止)					
予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了					
評価理由	ミュージズの利用促進という面ではある程度目的を達成しつつあるが、対象となる事業が所沢市文化祭、市民文化フェア、吹奏楽祭など、全市の規模で様々な年齢層による広範囲な参加者のある公共性の高い事業である。市民の交流や本市文化向上のために、ミュージズ利用料の負担軽減の面では依然として必要な補助制度と考えられる。					
評価日	平成20年5月9日	記入者職氏名	社会教育課長 則武辰夫			

⑧二次評価	一次評価を受けて	平成21年度における事業の方向性						
	総合評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [] <input type="checkbox"/> 終了						
	予算	<input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了						
	評価理由	評価理由						
年度用事前評価	部内優先順位...	位	非常に高い	高い	やや低い	低い	優先度評価	<input type="checkbox"/> A:優先的に資源配分をするべきと評価する事務事業
	見込まれる貢献度	総合計画上位目標	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/> B:重要であり引き続き実施すべきと評価する事務事業
	評価理由	市長マニフェスト	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/> C:現状での実施は見送るべきと評価する事務事業
	評価日							

⑨個別計画における方向性	◎環境基本計画	本事業の左記計画における位置づけ... 無し	計画コード	
	施策の体系		施策の方向	
	◎次世代育成支援行動計画	本事業の左記計画における位置づけ... 無し	計画コード	
	基本目標			
	主要課題			
	施策の方向			